

## 質疑・回答書

| 告示番号 | 第48号   | 件 名   | (仮称)豊中市立北校建設空調設備工事、(仮称)豊中市南部コラボセンター建設空調設備工事 |
|------|--|---|---|
| No   | 質疑事項   | 回 答   |   |
| 1    | 図面No.AC-003 総合調整が本工事とありますが、調整項目が全て白抜きとなっています。記載の調整項目は全て不要と考えて宜しいでしょうか。   | 総合調整項目は風量・温湿度調整、室内外空気の温湿度の測定、騒音の測定とします。   |   |
| 2    | 図面No.AC-003 保温材種別がロックウールとあります。ドレン管・ダクトの保温はグラスウールでは無く、全てロックウールと考えて宜しいでしょうか。(冷媒管は断熱材被覆銅管10t・20tと記載あり)            | 各配管保温仕様の保温材種別がロックウールですが、冷媒管の屋外露出外装(RW+SUS板)以外、屋内露出部及びドレン管の保温はグラスウールとします。  |   |
| 3    | 図面No.AC-007、133、140 制気口リストでHEU-S2-15の系統のボックス板厚が1.6tとなっています。指定の制気口は防火区画図より区画となっていないため、1.6tではなく通常の板厚として宜しいでしょうか。 | 制気口リストに記載の通り、HEU-S2-15の系統のボックスの板厚は1.6tとします。   |   |
| 4    | 図面No..ACP-C103-2、ACP-C305-1 機器表で天井ビルトイン型となっていますが、図面にダクトの記載がありません。ダクトが必要な場合、図面で詳細をご指示下さい。                       | 図面No.AC-201のACP-C103-2は、天井ビルトインダクト型ではなく、天井カセット型 4方向吹出を正とします。<br>また、図面No.AC-205のACP-C305-1は、天井ビルトインダクト型ではなく、天井カセット型 1方向吹出を正とします。 |   |

## 質疑・回答書

| 告示番号 | 第48号  | 件名 | (仮称)豊中市立北枝建設空調設備工事、(仮称)豊中市南部コラボセンター建設空調設備工事  |
|------|---|----|--|
| No   | 質疑事項  | 回  | 答  |
| 5    | <p>図面No.AC-210、231 FE-C4-4は機器表で1800m<sup>3</sup>×3台と<br/>なっていますが、制気口リスト・平面図から600m<sup>3</sup>×3台の表記<br/>ミスと考えられます。600m<sup>3</sup>×3台として宜しいでしょうか。又は<br/>制気口リスト・平面図の修正をお願いします。</p> |    | <p>FE-C4-4は機器表で1800m<sup>3</sup>/h×3台ではなく、600m<sup>3</sup>/h×3台を正としま<br/>す。</p>  |
| 6    | <p>図面No.AC-224 ガラリチャンバーが2カ所ありますがサイズの<br/>記載がありません。H500とし想定で寸法を計上して宜しいで<br/>しょうか。又はチャンバーサイズをご指示下さい。</p>  |    | <p>2箇所のガラリ(別途建築工事)の寸法は以下の通りです。<br/>・6810 L×200 H ×1箇所<br/>・2200 L×200 H ×1箇所<br/>上記のガラリチャンバーボックス(本工事)の寸法は以下とします。<br/>・6810 × 500 × 500 H ×1個<br/>・2200 × 500 × 500 H ×1個<br/>ガラリ接続部は200Hですが、ダクト接続を考慮して、チャンバーボックスの<br/>高さは500Hとします。</p> |
| 7    | <p>現場説明書 備考欄に現場施工着手予定日 令和4年4月1日<br/>とありますが、共通費算出基準となる工期と考えてよろしいで<br/>しょうか。<br/>共通費算出基準となる工期が別途ある場合は、ご指示くださ<br/>い。</p>   |    | <p>共通費算出基準となる工期は20か月とします。</p>  |
|      |   |    |  |

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076  
 FAX 06-6858-7225  
 E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp